

**2022年12月期
第1四半期 (1月1日~3月31日)
決算説明資料**

2022年5月9日

高原 豪久
ユニ・チャーム 株式会社
代表取締役 社長執行役員



NOLA&DOLA
Necessity of Life with Activities & Dreams of Life with Activities

ユニ・チャームの島田でございます。本日はお集まりいただき、誠にありがとうございます。

それでは、資料に沿ってご説明させていただきます。

2022年12月期 第1四半期（1月1日～3月31日）決算概要

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

最初に、2022年12月期第1四半期決算の概要でございます。

連結

売上高 2,044億円 (YoY +12.3%)
コア営業利益 299億円 (YoY -4.5%)

- 売上高は過去最高更新。
- 業績予想の進捗は、売上高、コア営業利益ともに順調に推移。

日本

6.4%増収、1.1%増益

- ウェルネスケアとペットケア、フェミニンケアが高付加価値化促進で好調持続。
- 効率的なマーケティング費用投下と商品ミックスの改善などで収益を確保。

海外

15.6%増収、7.9%減益

- アジア地域 増収減益。増収はインドネシアやインド、ベトナムなどが牽引。減益は中国ベビーケアでの高粗利商品へのシフト加速化による調整が影響。
- その他地域 増収増益。北米は付加価値商品による価値転嫁で好調に推移。

株主還元

年間配当38円 21期連続増配計画

- 自己株式取得について・・・取得上限額170億円。取得上限株数420万株。

3ページは、決算の総括を記載しておりますので、ご覧ください。

第1四半期における売上高は過去最高更新
 厳しい環境下でも、業績予想進捗は順調



● 連結決算ハイライト (1-3月)	(億円)					
	'21/12月期 1Q	'22/12月期 1Q	増減額	増減率	(業績予想) '22/12月期	進捗率
売上高	1,820	2,044	+224	+12.3%	8,500	24.0%
コア営業利益 (利益率)	314 (17.2%)	299 (14.7%)	-14	-4.5% (-2.5P)	1,270 (14.9%)	23.6%
税引前四半期利益 (利益率)	342 (18.8%)	308 (15.1%)	-34	-10.1% (-3.7P)	1,260 (14.8%)	24.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (利益率)	201 (11.0%)	168 (8.2%)	-33	-16.3% (-2.8P)	792 (9.3%)	21.2%
EBITDA 税引前四半期利益 +減価償却費及び償却費	434	405	-29	-6.8%	1,660	24.4%
基本的1株当たり四半期利益(円)	33.56	28.22	-5.34	-15.9%	132.81	21.2%
USDレート(円)	105.90	116.20	+10.3	+9.7%	113.50	—
中国元レート(円)	16.36	18.29	+1.93	+11.8%	17.50	—

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved. 4

4ページをお願いいたします。損益のハイライトでございます。

業績につきましては、売上高は2,044億円、12.3%増収となり、第1四半期決算としましては過去最高を更新しました。

コア営業利益は299億円、4.5%の減益となりました。昨年来のオイル市況からの原材料価格の更なる上昇や、物流費の高まりなども相まって、コア営業利益率は2.5ポイント悪化し、14.7%となりましたが、高い収益性は確保することができました。

当社は、これまでも継続的な消費者に寄り添った付加価値商品の導入や、持続的な商品ミックスの改善、生産性の改善などを着実に実行してまいりました結果が、昨今の厳しい環境下でも高い収益性を保つことができている要因だと考えております。

連結業績予想につきましては、表の右側にありますように、売上高、コア営業利益、税引前当期利益は順調に推移し、親会社の所有者に帰属する四半期利益は若干遅れております。その要因は、税金費用の部分で円安が想定以上に進み、海外子会社の留保利益に関わる税効果負担額が換算によって上昇したことが主要因でございます。

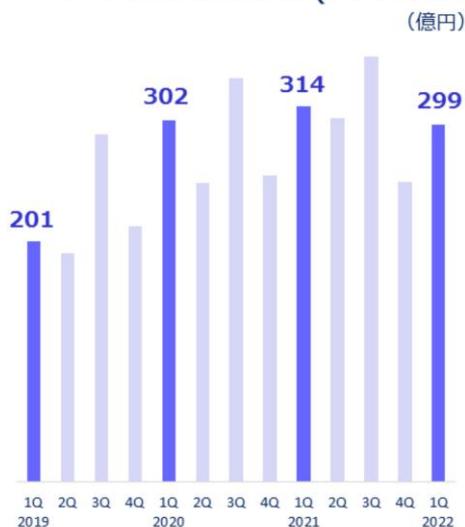
COVID-19禍でも安定した売上高成長
コスト上昇圧力のなか高い利益水準を確保



● 売上高推移(四半期別)



● コア営業利益推移(四半期別)



Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

5

5ページをお願いいたします。四半期別の業績推移でございます。

COVID-19禍でも、足元一部ロックダウンの地域もございますが、当社が扱う商品カテゴリーの市場は改善し、各国での商品ミックスを徐々に変えながらトップラインの拡大を進め、また特に日本においては、マスクや除菌ウェットティッシュなどの感染予防商品需要への対応で、売上高は順調に成長できました。

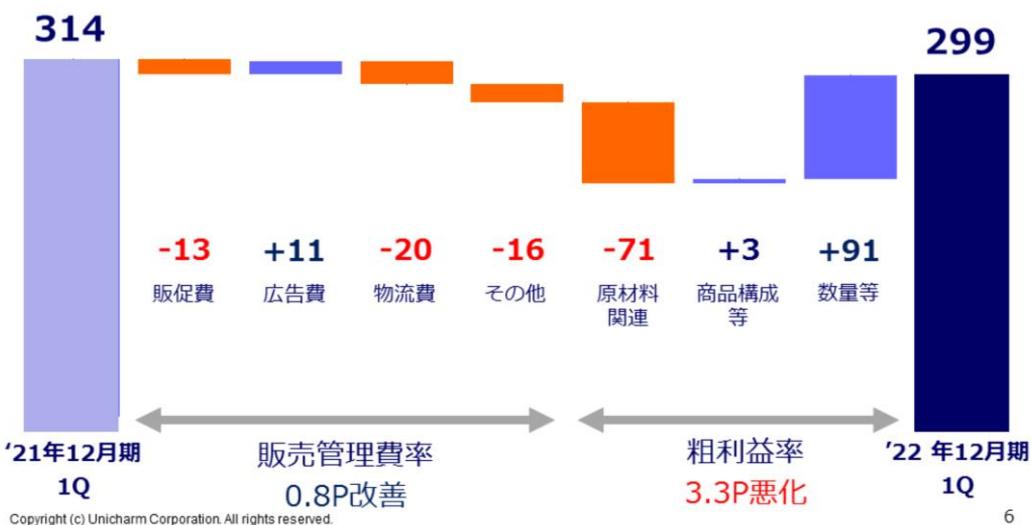
また、当四半期も、さらなる原材料価格の高騰など、厳しいコストプレッシャーの中、過去最高レベルの利益水準を確保することができました。

経営環境が厳しいなか、効率的にマーケティング費用を投下し
継続的な付加価値商品拡大による数量効果で原材料高騰を吸収



● コア営業利益増減
(1-3月)

(億円)



次に、資料6ページをご覧ください。コア営業利益の増減でございます。

販売管理費については、売上高比率として0.8ポイント改善しましたが、増収に伴う増加もあり、約38億円増加しました。

特に物流費については、昨今のサプライチェーンの混乱やオイル高騰もあり、インドネシアや中国、インドなどで増加しました。

また、その他費用16億円の増加の主なものとしては、人件費、研究開発費、デジタル関連、市場調査費などがございます。

一方、広告費は、日本を中心に消費者が見る媒体へと効率的な広告投下を実施し、11億円減少となりました。

次に、粗利益に関する項目でございます。

原材料関連は、昨年下半年からの急激な原材料単価の上昇により、前年同期と比較して粗利益に約71億円の減少影響となりました。

これを吸収するにあたり、継続的な付加価値商品の展開によって価値を上げ、商品構成などや数量などの部分でうまくバランスを取りながら、粗利益の増加を図ることができました。

今後、さらなる原材料価格の上昇が見込まれますので、各国、各地域での新たな付加価値商品による価値転嫁や効率的なマーケティング、生産性改善を実践し、これらの吸収に努めてまいりたいと思います。

日本ではフェミニンケアとウェルネスケア、ペットケアが牽引
北米やインドネシアなどで付加価値商品による価値転嫁は順調



● 所在地別セグメント情報 (1-3月)		'21/12月期 1Q	'22/12月期 1Q	増減額	増減率	(億円) (参考) 実質 ※1 増減率
日本	売上高	657	699	+42	+6.4%	—
	コア営業利益 (利益率)	135 (20.5%)	136 (19.5%)	+1	+1.1% (-1.0P)	—
アジア	売上高	883	994	+111	+12.5%	+4.7%
	コア営業利益 (利益率)	149 (16.9%)	130 (13.1%)	-19	-12.9% (-3.8P)	-19.0%
その他※2	売上高	280	351	+71	+25.4%	+15.8%
	コア営業利益 (利益率)	28 (10.1%)	34 (9.6%)	+5	+18.5% (-0.5P)	+8.1%
連結	売上高	1,820	2,044	+224	+12.3%	+7.0%
	コア営業利益 (利益率)	314 (17.2%)	299 (14.7%)	-14	-4.5% (-2.5P)	-8.3%

【主要国 売上高 実質増減率】 ※管理会計ベース
中国 -9% インドネシア +18% タイ +1% インド +21% ベトナム +3% 中東 +5% 北米 +31% ブラジル -11%

※1 実質増減率は、為替変動を除く増減率
※2 その他の主な地域は、北米、サウジアラビア、ブラジル、オランダ

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

7

資料の7ページをご覧ください。次に、所在地別セグメント情報でございます。

まず、日本におきましては、売上高は6.4%増収、1.1%増益となり、コア営業利益率は、原材料価格の高騰の影響などもあり1ポイント悪化し、19.5%となりました。

急激なコスト上昇の影響はありましたが、商品ミックスが改善し、コストをうまく吸収できました。

中でも、フェミニンケアのプレミアム化が促進し、10%を超える増収を達成。引き続き、大人用紙おむつとペットケアがそれぞれ一桁後半で増収。

また、マスクなどの衛生関連商品の高い需要が継続したことなどで、成長を牽引することができました。

次に、アジア地域についてです。

アジア地域におきましては、売上高は12.5%増収、コア営業利益は12.9%減益、コア営業利益率は13.1%となりました。

アジア主要国において、急激な原材料価格の高騰の影響を受けておりますが、想定内で順調に推移しております。

下段の、主要国の売上高実質増減にありますように、中国が減収となっております。これはベビーケアが主要因です。

急激なコスト上昇もあり、早急な対応として今期中に大きく日本製から中国製プレミアム品へシフトさせることによる収益改善を進めております。

今回、その在庫調整でコストを先行的に使用したため、マイナスの影響となっております。

一方、フェミニンケアは、昨年のハードルが高い中、増収を継続。プレミアム商品であるオーガニックコットン素材の商品、ショーツ型ナプキン、夜用ナプキンなどが引き続き好調に推移し、業績を牽引しております。

その他のアジアでは、資料の下段に示してありますように、市場の成長以上の成長ができており、インドネシアを中心に各地で成長できております。

最後に、その他地域についてです。売上高は25.4%増収、コア営業利益率は9.6%と0.5ポイント悪化しましたが、コア営業利益は18.5%増益となりました。

北米のペットケアについては、猫おやつなど、付加価値をつけながら価値を転嫁することで31%増収で、収益性も大きく改善することができました。

中東におきましては、サウジアラビア国内では、ウェルネスケアにおける販売チャネルの開拓やEコマースチャネルの成長、商品では、引き続きオリーブオイル配合の紙おむつや生理用品、またマスクなどの販売強化により、増収となりました。

ブラジルについては、1月度のCOVID-19再拡大の影響でサプライチェーンが滞った影響もあり、減収となりました。

また、価値転嫁は進めるも、為替環境が悪く、原材料価格高騰の影響もあり十分に吸収することができず、減益となっております。

海外売上高比率は過去最高レベルまで上昇
圧倒的な海外・アジア売上高比率を継続



● 海外売上高比率

● アジア売上高比率

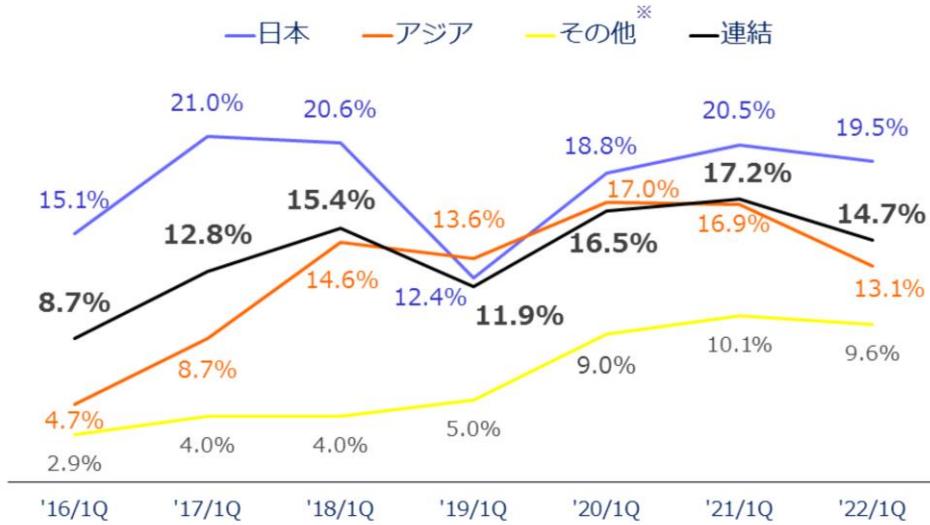


Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

8

資料8ページをご覧ください。海外売上高比率のグラフでございます。
構成比としては、海外が66.3%、過去最高レベルまで上昇しております。

● 所在地別 コア営業利益率（1-3月）



※ その他の主な地域は、北米、サウジアラビア、ブラジル、オランダ
Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

次に、資料9ページをご覧ください。所在地別コア営業利益率の推移グラフです。
当四半期は前期と比較して悪化しておりますが、過去から見ても決して低い収益性ではないと思います。

2017年、2018年は、中国での日本製需要で一時的に収益性が改善。これらが2019年でリセットされ、また原材料高騰の影響等もありましたので、11.9%まで下降し、直近の2020年、2021年は、原材料高が緩和したこと、またCOVID-19によってマスクなどの高収益セグメントの構成が高まったこともあり、非常に高い収益率となりました。

繰り返しになりますが、各地域で継続的な消費者に寄り添った高付加価値商品の投入や人口動態、経済状況に沿った持続的な商品ミックスの改善、生産性の改善などを着実に実行してきた結果が、このような厳しい環境下においても高い収益率を保っている要因ではないかと考えております。

パーソナルケアはフェミニンケア、ウェルネスケアなどが牽引
 ペットケアは北米が増収増益で好調持続、アジアでは投資拡大



● 事業別セグメント情報
 (1-3月)

		'21/12月期 1Q	'22/12月期 1Q	増減額	増減率
パーソナルケア	売上高	1,578	1,763	+186	+11.8%
	コア営業利益 (利益率)	278 (17.6%)	263 (14.9%)	-16	-5.6% (-2.7P)
ペットケア	売上高	223	263	+40	+17.8%
	コア営業利益 (利益率)	33 (14.9%)	35 (13.5%)	+2	+6.4% (-1.4P)
その他※	売上高	19	18	-2	-9.4%
	コア営業利益 (利益率)	2 (9.7%)	1 (7.4%)	-1	-30.7% (-2.3P)
連結	売上高	1,820	2,044	+224	+12.3%
	コア営業利益 (利益率)	314 (17.2%)	299 (14.7%)	-14	-4.5% (-2.5P)

※ その他は産業用資材関連商品等

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

10

次に、10ページをご覧ください。事業別セグメントでございます。

パーソナルケアにつきましては、増収減益でございます。

一部、COVID-19の再拡大による影響はありましたが、フェミニンケアとウェルネスケアがそれぞれ二桁増収で順調に伸長し、中でも引き続き中国のフェミニンケアが増収増益に一番貢献しました。

また、ベビーケアは、インド、インドネシアを中心に順調ではございますが、先ほどご説明のとおり、中国における高付加価値商品へのシフトが影響し、一桁半ばの増収減益となりました。

ペットケアについては、増収増益となりました。その内容につきましては、北米が、先ほど地域別のところでご説明差し上げましたとおり、猫おやつの貢献で増収増益を牽引しております。

一方、日本国内は、引き続き高い成長。室内飼育が増加中である猫関連商品が好調に推移しておりますが、収益性については、原材料高騰の影響もあり悪化しました。

また、中国でも積極的に費用を投下し、事業拡大の準備を進めておりますので、費用が先行しております。

そして、タイ、インドネシアにおいても、同様に事業拡大を進めているところでございます。

為替変動による影響額は
売上高 約96億円増、コア営業利益 約12億円増



● 通貨別変動推移 (1-3月平均レート)

通貨	'21/12期1Qレート	'22/12期1Qレート	増減率
中国(CNY)	16.36	18.29	+11.8%
インドネシア(IDR)	0.0075	0.0081	+8.0%
サウジアラビア(SAR)	28.27	31.02	+9.7%
タイ(THB)	3.50	3.52	+0.6%
インド(INR)	1.46	1.56	+6.8%
ベトナム(VND)	0.0046	0.0051	+10.9%
米国(USD)	105.90	116.20	+9.7%
オランダ(EUR)	127.69	130.39	+2.1%
台湾(TWD)	3.78	4.16	+10.1%
韓国(KRW)	0.0952	0.0965	+1.4%
マレーシア(MYR)	26.05	27.72	+6.4%
オーストラリア(AUD)	81.81	84.03	+2.7%
ブラジル(BRL)	19.37	22.30	+15.1%
エジプト (EGP)	6.74	7.23	+7.3%

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

11

次に、資料11ページをご覧ください。各通貨の為替変動による影響でございます。
各通貨のレート変動によりまして、決算レートにおける財務諸表への換算影響は、
売上高は対2021年度第1四半期比で約96億円の増収効果となり、コア営業利益
につきましては約12億円の増益効果がございました。

2022年12月期 業績予想概要

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

ここからは、今年2月に発表いたしました、2022年12月期の業績予想から、いろいろ外部環境にも変化がございましたので、それについての対応をご説明差し上げます。

連結

売上高	8,500億円	(YoY +8.6%)
コア営業利益	1,270億円	(YoY +3.7%)

【進捗状況】

- 売上高は上振れで推移。コア営業利益は想定線で推移。

【当初想定からの環境変化】

- ウクライナ情勢不安に起因するオイル市況の上昇が継続。
- それに伴う原材料関連や物流費などの高騰は更なる上昇が見込まれる。
- 急激な為替変動（円の独歩安）。
- 中国 上海におけるロックダウンによる供給面の停滞。

【環境変化への対応】

- 各国、各地域での付加価値商品による価値転嫁を推進。
- 高粗利商品へのシフトを加速化。
- 更なるマーケティングの効率化を図りコストダウンにつなげる。
- 各通貨に対する円安はトータルではポジティブ。
- 中国では他拠点で供給をカバーしロックダウン明けの需要に備える。

13ページをお願いします。年間の連結業績予想のサマリーでございます。

売上高は8,500億円、8.6%増収、コア営業利益は1,270億円、3.7%増益と、当初の予想どおりの数値でございます。

進捗状況としましては、売上高は上振れで推移し、コア営業利益は想定しているラインで推移しております。

今回の当初予想では、原材料価格の高騰や物流費率の高止まりなど、ある程度のコスト上昇を見込んでおりましたが、この短期間でさまざまな環境変化があり、特に原材料関連のコストがさらに上昇すると見込んでおります。

その原材料関連のコストですと、当初174億円高騰すると予想しており、上期は当初予定どおり119億円あたりが見込まれ、下期は現状のオイル市況を鑑みますと、大幅な上昇になる可能性がございます。

これを吸収すべく対応策としては、既に北米のペットケア、インドネシアなどで付加価値商品による価値転嫁を実施し、順調に成果は出ております。

今後、各国、各地域でも、市場環境を見ながら、新たな付加価値商品の提供時に価値転嫁を強力的に推進してまいります。

また、マーケティング費用の効率化、生産性改善も引き続き進めてまいり、コスト吸収を進めていきます。

(億円)

● 連結決算ハイライト
(1-12月)

	'21/12月期	'22/12月期	増減額	増減率	(参考) 実質増減率 ※1
売上高	7,827	8,500	+673	+8.6%	+6.5%
コア営業利益 (利益率)	1,225 (15.6%)	1,270 (14.9%)	+45	+3.7% (-0.7P)	+2.0%
税引前当期利益 (利益率)	1,220 (15.6%)	1,260 (14.8%)	+40	+3.3% (-0.8P)	
親会社の所有者に帰属する当期利益 (利益率)	727 (9.3%)	792 (9.3%)	+65	+8.9% (+0.0)	
基本的1株当たり当期利益(円)	121.78	132.81	+11.03	+9.1%	
USDレート(円)	109.80	113.50	+3.70	+3.4%	
中国元レート(円)	17.03	17.50	+0.47	+2.8%	

※1 実質増減率は、為替変動を除く増減率
Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

14

14ページをご覧ください。2022年12月期連結決算ハイライトでございます。
内容については、先ほどご説明させていただいたとおりでございます。

株主還元政策

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

次に、株主還元政策についてご説明いたします。

業績に連動した配当金と自己株式の取得により 2022年度も総還元性向50%を計画



● 株主還元政策



※1: 会計年度9ヶ月の変則決算

継続的な成長を実現するための事業投資を優先しつつ、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、自己株式の取得に関しても必要に応じて機動的に行うことで、株主配当と自己株式取得と合わせて**総還元性向50%を目標**に利益還元を図っております。

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

16

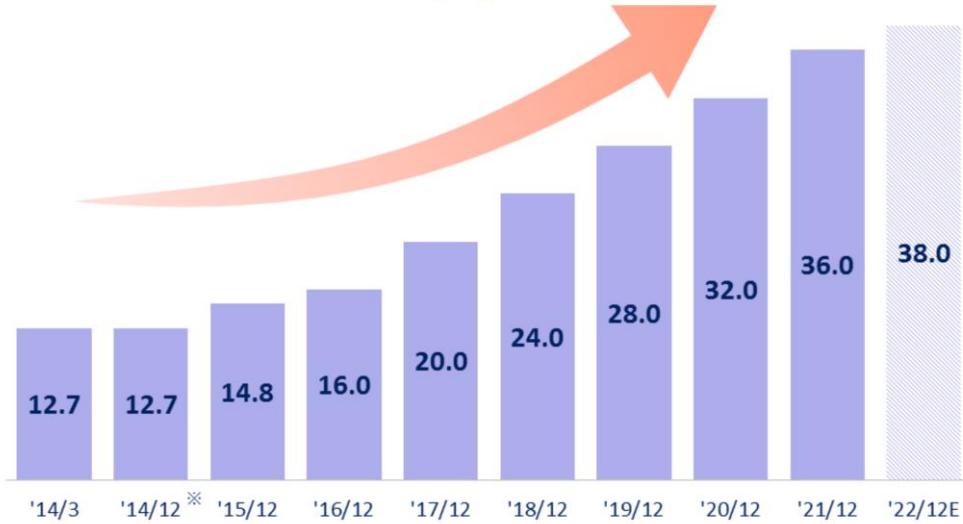
16ページをお願いいたします。

当社の株主還元政策につきましては、継続的な成長を実現するための事業投資を優先しながら、配当については、中長期的な連結業績の成長に基づき、安定的かつ継続的な配当を実施し、また自己株式の取得に関しましても、必要に応じて機動的に実施することで、2022年度の総還元性向50%の利益還元を計画しております。

1株当たり配当金 21期連続の増配 (年間38円)計画



● 1株当たり配当金の推移(円)



※ 会計年度9ヶ月の変則決算

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

17

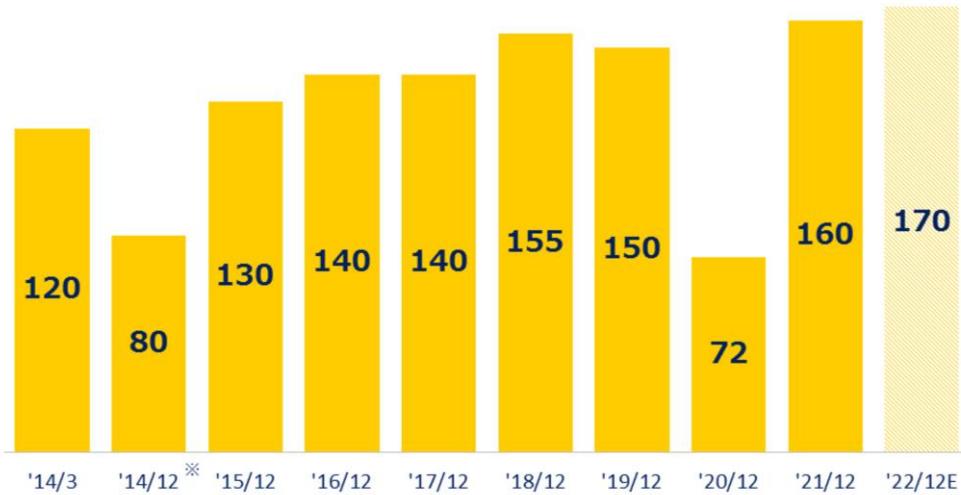
17ページをご覧ください。

1株当たり配当金についてですが、2022年度は年間2円増配の38円となり、21期連続増配を計画しております。

キャッシュの状況に応じて機動的に自己株式を取得
'22年は170億円（420万株）を上限に取得予定



● 自己株式取得の推移(億円)



※ 会計年度9ヶ月の変則決算

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

18

18ページをご覧ください。自己株式取得の推移でございます。

2022年度も2月の取締役会で、上限取得額170億円、上限420万株の取得を決議しましたので、機動的に自己株式を取得できればと思います。

4月も取得0円となっておりますが、取得できないタイミングもありますので、ご理解いただければと存じます。

今後も安定的かつ継続的な増配と自己株式取得を併せて実施し、株主の皆様への利益還元を重要な経営方針の一つと考え、持続的なキャッシュフローの創出による企業価値向上に努めてまいります。

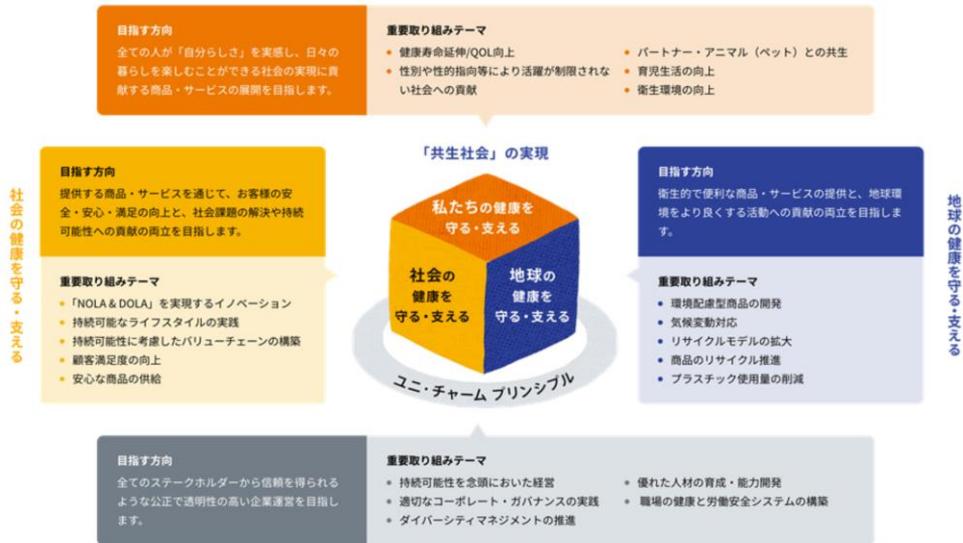
「共生社会」の実現に向けた取り組み

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

資料19ページ以降につきましては、共生社会の実現に向けた取り組みについてご紹介しておりますので、お時間がありますときにご覧いただければと存じます。

◆ 2030年をゴールとした20の重要取り組みテーマ

私たちの健康を守る・支える



◆「共生社会」の実現に向けた20の重要取り組みテーマ

私たちの健康を守る・支える

- 健康寿命延伸/QOL向上
- 性別や性的指向等により活躍が制限されない社会への貢献
- パートナー・アニマル（ペット）との共生
- 育児生活の向上
- 衛生環境の向上

社会の健康を守る・支える

- 「NOLA&DOLA」を実現するイノベーション
- 持続可能なライフスタイルの実践
- 持続可能性に考慮したバリューチェーンの構築
- 顧客満足度の向上
- 安心な商品の供給

地球の健康を守る・支える

- 環境配慮型商品の開発
- 気候変動対応
- リサイクルモデルの拡大
- 商品のリサイクル推進
- プラスチック使用量の削減

ユニ・チャームプリンシプル

- 持続可能性を念頭においた経営
- 適切なコーポレート・ガバナンスの実践
- ダイバーシティマネジメントの推進
- 優れた人材の育成・能力開発
- 職場の健康と労働安全システムの構築

◆私たちの健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指標	目標値	目標年
全ての人が「自分らしさ」を実感し、日々の暮らしを楽しむことができる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開を目指します。			
健康寿命延伸/QOL向上	どのようなときも、誰もが“自分らしさ”を実感して暮らすことのできる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開比率。	100%	2030年
性別や性的指向等により活躍が制限されない社会への貢献	世界中全ての人が、性別や性的指向等によって制限を受けることなく活躍できる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開比率。（一部の国・地域において残る女性への差別解消に貢献する商品・サービスの展開を含む）	100%	2030年
パートナー・アニマル（ペット）との共生	パートナー・アニマル（ペット）が、家族はもちろん、地域に暮らす人々から歓迎される社会の実現に貢献する商品・サービスの展開比率。	100%	2030年
育児生活の向上	赤ちゃん和家人が、すこやかに、かつ、ほがらかに暮らすことのできる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開比率。	100%	2030年
衛生環境の向上	一人ひとりの努力で、予防可能な感染症（接触感染、飛沫感染）を抑制する活動に貢献する商品・サービスの展開比率。	100%	2030年

(私たちの健康を守る・支える)
**商品やサービスを通じて高齢者に寄り添い
 「健康寿命延伸」をサポート**



◆健康寿命延伸/QOL向上



1995年“寝たきりゼロを目指して”
 『ライフフリーリハビリ用パンツ』発売



家からできる
 歩行アシスト体操!
歩行アシスト体操は、歩行能力を向上させ、健康寿命を延ばすのに効果的です。

2030年に
 向け拡大



“自分らしさ”を実感して暮らせる
 商品・サービスの展開

◆ご使用される方のADL（日常生活動作）に合わせた商品展開で自立排泄を支援

- 軽い尿モレの方
- 一人で外出できる方
 一人で歩ける方
 介助があれば歩ける方
- 立てる方・座れる方
- 寝て過ごすことが多い方



Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

(私たちの健康を守る・支える)
**国や地域の特性に合わせた
 女性が輝く社会づくりのための活動を展開**



◆性別や性的指向等により活躍が
 制限されない社会への貢献



2030年に
 向け拡大



性別や性的指向等によって制限を受ける
 ことなく活躍できる商品・サービスの展開

◆生理について気兼ねなく話せる世の中を
 目指す取り組み

#NoBagForMe

話そう、知ろう、生理のこと。

生理について学ぶ企業向けプログラム
みんなの生理研修

> 参加企業募集中! 詳しくはこちら

Internet Media
 AWARDS

目ウーマン
 経エンパワーメント
 Nikkei Women Empowerment
 AWARDS

ACC

TOKYO CREATIVITY AWARDS

#UNSTEREOTYPE
 ALLIANCE

◆女性活躍支援をグローバルで推進



文化を考慮した
 女性専用工場



女性起業家創出
 プロジェクト



オンラインによる
 初潮教育24

(私たちの健康を守る・支える)
国や地域の特徴に合わせた新価値提案



◆ **手軽さ、安心感、簡便性を兼ね揃えた
 ナプキンと一緒に使うタイプの生理用品**



※ 経血量には個人差があります

◆ **ショーツ型や、温感に着目したナプキン
 (中国現法考案)**



軽温感

強温感

◆ **ムレを感じにくく、ひんやりとした
 清涼感のクールタイプや、炭を配合した
 消臭タイプのナプキン (タイ現法考案)**



◆ **バクテリアの増殖を99.9%抑える
 抗菌シートを採用したタイプや、
 オリーブオイルを配合したナプキン**



Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

(私たちの健康を守る・支える)
**独自技術でパートナー・アニマル（ペット）の
 毎日の健康とオーナー様の心をサポート**



◆パートナー・アニマル（ペット）との共生



パートナー・アニマル（ペット）が
 人々から歓迎される商品・サービスの展開

◆品質、美味しさ、健康をサポートする
 多様なニーズに応じたフード

◆不織布・吸収体の加工・成形技術を活かしたトイレタリー商品



Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

26

(私たちの健康を守る・支える)
赤ちゃんと保護者の不快を解消し、心地よさを生み出す
商品やサービスを通じて育児環境の向上をサポート



◆ 育児生活の向上



赤ちゃん和家人が、すこやかに、かつ、
 ほがらかに暮らせる商品・サービスの展開

◆ 保護者と保育士の負担や、感染リスク
 軽減にもつながる保育園向けサブスクリプション (定額課金) サービス



©Fujiko-Pro, Shogakukan, TV-Asahi, Shin-ei, and ADK

◆ 国や地域のニーズに合わせた差別化商品



Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

◆衛生環境の向上



2030年
向け拡大



一人ひとりの努力で、感染対策するための
商品・サービスの展開

◆機能性と、つけ心地を追求し、生活者の
利用実態やニーズに合わせた商品

◆海外においても、高付加価値マスクの
展開を強化



◆社会の健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指標	目標値	目標年
提供する商品・サービスを通じて、お客様の安全・安心・満足の向上と、社会課題の解決や持続可能性への貢献の両立を目指します。			
「NOLA & DOLA」を実現するイノベーション	さまざまな負担からの解放を促し、生きる楽しさを満足することに貢献する商品・サービスの展開比率。	100%	2030年
持続可能なライフスタイルの実践	持続可能性に貢献する社内基準「SDGs Theme Guideline」に適合した商品・サービスの展開比率。	50%	2030年
持続可能性に考慮したバリューチェーンの構築	環境・社会・人権の観点を踏まえ、地域経済に貢献する『地産地消』で調達した原材料を用いた商品・サービスの展開比率。	倍増 (2020年比)	2030年
顧客満足度の向上	消費者から支持を獲得している(=No.1シェア)商品・サービスの比率。	50%	2030年
安心な商品の供給	品質に関する新たな安全性の社内基準を設定し、認証を付与した商品の比率。	100%	2030年

(社会の健康を守る・支える)

全ての人々が不自由なく健康的で衛生的に過ごせるソーシャル
インクルージョンの実現に向けた商品とサービスを展開



◆ 「NOLA & DOLA」を実現するイノベーション



2030年に
向け拡大



さまざまな負担からの解放を促し、生きる
楽しさが実感できる商品・サービスの展開

◆ 聴覚障がいや、言語障がいのある消費者
の声に耳を傾け、迅速に自社技術を活用
したマスク



◆ デングウイルスを媒介する蚊をおむつに
寄せつけず、赤ちゃんをデング熱の脅威
から守る世界初※のおむつ



※ テープ部に香料含有のマイクロカプセルが塗工されている構造。
主要グローバルブランドにおける幼児用使い捨ておむつ対象
(2020年2月ユニ・チャーム調べ)

Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

30

◆地球の健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指標	目標値	目標年
衛生的で便利な商品・サービスの提供と、地球環境をより良くする活動への貢献の両立を目指します。			
環境配慮型商品の開発	今までにないユニ・チャームらしい考え方で「3R+2R」を実践する商品・サービスの展開件数。	10件以上	2030年
気候変動対応	事業展開に用いる全ての電力に占める再生可能電力の比率。	100%	2030年
リサイクルモデルの拡大	紙おむつリサイクル設備の導入件数。	10件以上	2030年
商品のリサイクル推進	資源を循環利用した不織布素材商品のマテリアル・リサイクルの実施。	商業利用開始	2030年
プラスチック使用量の削減	プラスチックに占めるバージン石化由来プラスチックの比率。	半減（2020年比）	2030年

◆2050年3つの“ゼロ”を推進

「廃プラスチック“0”、CO₂排出“0”、自然森林破壊“0”」

環境課題	実施項目	基準年	2030目標	2050ビジョン
プラスチック問題対応	包装材における使用量削減	2019年※	原単位▲30%	新たな廃プラスチック“0” 社会の実現
	石化由来プラスチックフリー商品の発売	—	10SKU以上発売	
	使用済み商品廃棄方法啓発	—	全LMUで展開	
	販促物でのプラスチック使用ゼロ	—	全LMUで原則ゼロ	
気候変動対応	原材料調達時CO ₂ 削減	2016年	原単位▲17%	CO ₂ 排出“0”社会の実現
	製造時CO ₂ 削減	2016年	原単位▲34%	
	使用済み商品廃棄処理時CO ₂ 削減	2016年	原単位▲26%	
森林破壊に加担しない (調達対応)	パルプ、パーム油の原産地(国・地域) トレーサビリティ確認	—	完了	購入する木材について 自然森林破壊“0”社会 の実現
	認証パルプ(PEFC・CoC認証)の拡大	—	100%	
	認証パーム油(RSPO)の拡大	—	100%	
	紙おむつリサイクル推進	—	10以上の自治体で展開	

※ 設定当初、「包装材におけるプラスチック使用量削減」の基準年を「2016年」としていましたが、2020年に再検討し、「2019年」に改めました。

◆環境に配慮した商品の開発



今までにない考え方で「3R+2R」を
 実践する商品・サービスの展開件数

◆100%再生資材を使用した紙パッケージ
 商品や、原料の一部に植物由来資源を
 使用した商品

◆資生堂ジャパン(株)、(株)ファイントウデイ
 資生堂、ライオン(株)と共同で、店頭販促
 物のプラスチック使用量削減を宣言



(地球の健康を守る・支える)
**工場で使用する電力を再生可能電力へ切り替え
 CO₂の削減を目指す**



◆気候変動対応



2030年目標
100%



事業展開に用いる
全ての電力に占める再生可能電力の比率

◆再生可能電力比率5%以上の国・地域

国	再生可能電力比率
ブラジル	100%
ベトナム	約13%
タイ	約8%
日本	約5%

◆再生可能電力比率100%の事業所

ブラジル
ジャグアリウーナ工場



日本
九州工場



(地球の健康を守る・支える)
**使用済み紙おむつの再資源化で
 ゴミ処理費用削減と環境負荷を低減**



◆リサイクルモデルの拡大



2030年目標
10件以上



紙おむつリサイクル設備の導入件数

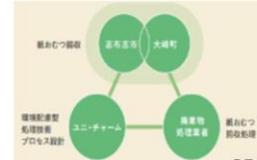
◆安心と便利さはそのままに、リサイクルがあたり前の未来へ

すべての素材を
再資源化

使用済み紙おむつ
**衛生材料品質まで
キレイに**

オゾン漂白・殺菌は
**水も空気も
汚さない**

はじまっている
**リサイクルが
あたり前の
未来**



Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

(地球の健康を守る・支える)

世界初※

オゾン技術を活用した、使用済み紙おむつの再資源化



◆使用済み紙おむつを水溶化により破碎、分離、オゾン処理することで再資源化を実現

環境に負担をかけずに 安全・安心の材料へ



※ オゾン処理技術を使用した紙おむつから紙おむつへの水平リサイクル技術について (2020年12月UC調べ)
Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

◆自治体や小田急電鉄とともに使用済み紙おむつの分別回収の実証実験を推進



<実証実験イメージ図>

【高齢者施設・保育園・一般家庭】

【回収】

【リサイクル】



使用済み紙おむつを分別



自治体や小田急の
効率的な分別回収



ユニ・チャームの
紙おむつリサイクル

これまでの実施地域：志布志市、大崎町、東大和市

当該実証事業を通じて、使用済み紙おむつリサイクル事業を国内及び海外で展開できる循環型モデルの構築を行い、新たな課題を明確にして対策を行う

(地球の健康を守る・支える)
使用済み紙おむつのリサイクル推進に向け
「図解でわかるユニ・チャーム紙おむつリサイクル」を公開



◆小中学生向けに自由研究にも活用できる4つに分けた「研究ノート」で
使用済み紙おむつは、もう“ごみ”じゃないことを図解で説明

研究ノート①

ユニ・チャームが実現した
紙おむつの
循環型リサイクル



- 研究テーマ：循環型リサイクルとは？
- 世界初、ユニ・チャームの紙おむつ循環リサイクル

研究ノート②

紙おむつ
再生の技術



- 研究テーマ：紙おむつの構造を知ろう
- 研究テーマ：オゾン処理でパルプを再生する仕組み
- 研究テーマ：高分子吸水材（SAP）を再生する仕組み

研究ノート③

リサイクルしないと
紙おむつは
どうなるの？



- 研究テーマ：紙おむつをリサイクルしないでごみとして捨てるとうなるの？
- SDGs（持続可能な開発目標）に貢献する紙おむつリサイクル

研究ノート④

紙おむつの
リサイクルで
地球環境を守る



- 研究テーマ：リサイクルでこんなに減る、温室効果ガスの排出量
- 使用済み紙おむつが“ごみ”じゃない世界をみんなで一緒につくろう

<https://www.unicharm.co.jp/ja/csr-eco/education.html>

◆ユニ・チャーム プリンシプル

重要取り組みテーマ	指標	目標値	目標年
全てのステークホルダーから信頼を得られるような公正で透明性の高い企業運営を目指します。			
持続可能性を念頭においた経営	外部評価機関による評価レベルの維持・向上の推進。	最高レベル	2026年から毎年
	バリューチェーンにおける重大な人権違反の発生件数。	発生 ゼロ	毎年
適切なコーポレート・ガバナンスの実践	重大なコンプライアンス違反件数。	発生 ゼロ	毎年
ダイバーシティマネジメントの推進	女性社員に様々な機会を提供することによる管理職における女性社員比率。	30%以上	2030年
優れた人材の育成・能力開発	社員意識調査の「仕事を通じた成長実感」における肯定的な回答の比率。	80%以上	2030年
職場の健康と労働安全システムの構築	心身ともに社員が健康で安心して働くことができる職場環境整備による心身の不良を原因とした休職者の削減比率。	半減（2020年比）	2030年

(ユニ・チャームプリンシプル)
女性の活躍推進に向けた取り組みを更に強化



◆ダイバーシティマネジメントの推進



2030年目標
30%以上



女性社員に様々な機会を提供することによる
管理職における女性社員の比率

◆女性活躍を推進に向けて、
「30% Club Japan」への加盟と、
女性のエンパワーメント原則に署名



In support of

**WOMEN'S
EMPOWERMENT
PRINCIPLES**

Established by UN Women and the
UN Global Compact Office

◆キャリアや人生の悩みを共有、相談する
女性社員のネットワーク「Room L+」
を構築し、女性活躍を推進

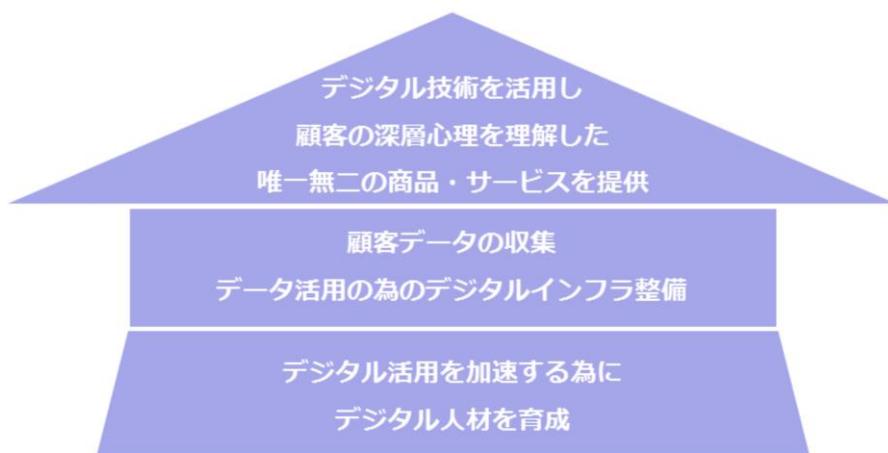


デジタル技術活用により、生活者の絶対価値を創造することで
持続的な企業価値の向上と、競争力強化を実現



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALSへの貢献

「共生社会」 (=ソーシャルインクルージョン)を実現



◆最適な紙おむつ選びをサポートする
「大人用おむつカウンセリング」



◆生理にまつわる悩みをサポートする
「ソフィ生理管理アプリ」



◆ワンちゃん、ネコちゃんに関する
お悩み共有サービスDOQAT※



※ DOQAT <https://doqat.jp/>

◆出産や育児の不安をサポートする
「オンラインムーニーちゃん学級」
「ムーニーちゃんとトイレトレーニング
アプリ」



デジタル技術を活用した国内の取り組み②



- ◆(株)RABO※1との資本業務提携で、ネコちゃんの健康支援サービスを展開



※1 株式会社RABO <https://rabo.cat/company/>

- ◆(株)ファーストアセント※2との資本業務提携で、健やかな育成環境の実現を加速



※2 子育て環境をより豊かにするため、AIやIoTを駆使した先進的な技術によって新しいサービスを創造し続ける会社

- ◆(株)CHaiLD※3との共同研究で、赤ちゃんの良質な睡眠環境、適切なケアを促進



※3 株式会社CHaiLD <https://c-c-s.jp/>
Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

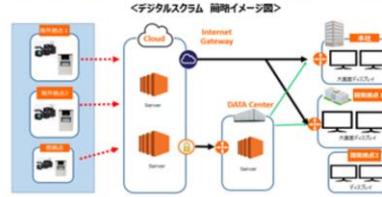
- ◆保育園向けベビー用紙おむつのサブスクリプション「手ぶら登園」で、保護者と保育士の負担や、感染リスクを軽減



◆ 店外における来店前のデジタル施策で、
価値伝達を進化



◆ 顧客インサイトの発見に向け、
「デジタルスクラムシステム」を開発



◆ 様々な自動設備の搭載や、IoTを活用
した最新鋭のスマートファクトリーで、
工場見える化を推進



◆ 自動倉庫設備や、最新倉庫管理システム
などを導入したスマートロジスティクス
で、省人・省力化を推進



◆ペットの成長記録ツール+O2Oペット病院紹介プラットフォーム

「宠本本 (Pet note)」



宠本本
悉心记录 相伴一生

健康記録



健康相談



健康診断



病院検索



◆女性の生理知識、悩みをサポートする
アプリ「Sofy Girl Talk」



◆ベビー用紙おむつのユニークな顧客
体験を実現する「Mamypoko Club」



GPIF採用ESG指数における5指数の構成銘柄に選定

総合型指数

FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

テーマ指数

S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

MSCI 日本株
女性活躍指数 (WIN)



その他ESG指数

FTSE4Good

Bloomberg
Gender-Equality
Index
2022

2021

Sompo Sustainability Index

外部機関からの評価（2022年度）



◆ 「DX認定事業者」に選定（2月）



◆ 第7回ACAP「消費者志向活動章」を受章（2月）

◆ 「CDP2021サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定（2月）



◆ 第3回ESGファイナンス・アワード・ジャパン 環境サステナブル企業部門「銅賞」を受賞（3月）



◆ 「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定（3月）



◆ Institutional Investor 「2022 Japan Executive Team Rankings」の「Most Honored Company」に選定（4月）

外部機関との連携



Copyright (c) Unicharm Corporation. All rights reserved.

